

【的中問題！】一部ご紹介致します！

大原：直前対策模擬試験②－第19問

システム開発におけるオブジェクト指向プログラミングの特徴として、以下の3つの用語 a ～ c と、その説明①～③の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。解答は問19へマークせよ。

- a カプセル化
- b インヘリタンス
- c インスタンス

- ① クラスを基にした実際の値としてのデータのこと。
- ② オブジェクト内部のデータを隠蔽したり(データ隠蔽)、オブジェクトの振る舞いを隠蔽したり、オブジェクトの実際の型を隠蔽したりすること。
- ③ 既に定義されているクラスをもとに、拡張や変更を加えた新しいクラスを定義すること。

〔解答群〕

- | | | | |
|---|-------|-------|-------|
| ア | a : ① | b : ② | c : ③ |
| イ | a : ② | b : ③ | c : ① |
| ウ | a : ② | b : ① | c : ③ |
| エ | a : ③ | b : ① | c : ② |
| オ | a : ③ | b : ② | c : ① |

本試験：第3問

オブジェクト指向プログラミングに関する記述として、最も適切なものはどれか。

- a 多相性は、プログラムの実行時に変数に値が代入されると、その値に基づいてデータの型が自動的に決定される仕組みである。
- b インスタンス化は、オブジェクトの属性と機能を外部から隠蔽する仕組みである。
- c 継承は、下位クラスが上位クラスの属性と機能を引き継ぐ仕組みである。
- d カプセル化は、上位クラスで定義された機能を下位クラスの役割に応じて再定義する仕組みである。

〔解答群〕

- | | | | | |
|---|-------|-------|-------|-------|
| ア | a : 正 | b : 正 | c : 誤 | d : 誤 |
| イ | a : 正 | b : 誤 | c : 正 | d : 正 |
| ウ | a : 正 | b : 誤 | c : 正 | d : 誤 |
| エ | a : 誤 | b : 正 | c : 誤 | d : 正 |
| オ | a : 誤 | b : 誤 | c : 正 | d : 誤 |

大原：公開模擬試験－第16問

ある企業では、新規事業のための情報システムを新たに開発することにした。そのシステムの開発規模の見積もりに関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。解答は問16へマークせよ。

- a ファンクションポイント法は、外部仕様から、そのシステムの外部入力、外部出力、内部論理ファイル、外部インタフェースファイル、外部照会の5項目に該当する要素の数を求め、処理の複雑度で重み付けして処理を見積もる。
- b WBS法は、WBSにより作業を洗い出し、過去の経験から求めた作業ごとの工数を積み上げて規模を見積もる。
- c CoBRA法は、ソフトウェアの開発作業を標準作業に分解し、標準作業ごとにあらかじめ決められた標準工数を割り当て、それらを合計して規模を見積もる。
- d 標準タスク法は、プログラム言語と開発担当者のスキルから経験的に求めた標準的な生産性と、必要とされる手続きの個数とを乗じて規模を見積もる。
- e LOC法は、画面や帳票の数をもとに開発規模を計算するため、仕様書が完成する前の要件定義段階での見積もりは難しい。

〔解答群〕

- | | |
|---|-------|
| ア | a と b |
| イ | a と e |
| ウ | b と c |
| エ | c と d |
| オ | d と e |

本試験：第16問

システム開発やソフトウェア開発において、工数やコストの面から開発規模を見積もることは重要である。以下の記述のうち、最も適切なものはどれか。

- ア CoBRA法とは、LOC法で算出されたソフトウェア規模に補正係数を掛け合わせて開発規模を見積もる方法である。
- イ COCOMO法とは、データの構造や流れに着目してソフトウェアの開発規模を見積もる方法である。
- ウ COSMIC法とは、開発工数が開発規模に比例すると仮定するとともに、さまざまな変動要因によって工数増加が発生することを加味して開発規模を見積もる方法である。
- エ ファンクションポイント法とは、開発するシステムの入力や出力などの機能を抽出し、それぞれの難易度や複雑さに応じて重み付けし点数化することによって、ソフトウェアの開発規模を見積もる方法である。
- オ 類推法とは、WBSで洗い出された作業単位ごとに工数を見積もり、この合計をシステム全体の工数と考えて開発規模を見積もる方法である。

㊦ 経営情報システム

(ご注意) 本解答・配点は、令和6年8月5日(月)に一般社団法人中小企業診断協会(<http://www.j-smeca.jp/index.html>)から発表されたものです。

問題	設問	正解	配点
第1問	—	ウ	4
第2問	—	ア	4
第3問	—	オ	4
第4問	—	ウ	4
第5問	—	オ	4
第6問	—	イ	4
第7問	—	ア	4
第8問	—	オ	4
第9問	—	ウ	4
第10問	設問1	オ	4
	設問2	ア	4
第11問	—	エ	4
第12問	—	ウ	4
第13問	—	ア	4
第14問	—	ウ	4
第15問	—	オ	4
第16問	—	エ	4
第17問	—	イ	4
第18問	—	オ	4
第19問	—	エ	4
第20問	—	ウ	4
第21問	—	オ	4
第22問	—	イ	4
第23問	—	ウ	4
第24問	—	イ	4
合計	25問		100